

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更							
フリガナ設置者	トヤマケン 富山県							
フリガナ大学の名称	トヤマケンリツダイガク ダイガクイン 富山県立大学大学院 (Toyama Prefectural University Graduate School)							
大学本部の位置	富山県射水市黒河5180番地							
大学の目的	大学院では、専攻分野に関する専門的な学術の理論及び応用を教授研究することにより、深遠な学識と高度な研究能力とを兼ね備えた有為な人材を育成するとともに、学術文化の向上と社会の発展に寄与することを目的とする。							
新設学部等の目的	<p>環境問題を解決し持続可能な循環型社会を構築するための技術やマネジメントに関する教育研究を行い、自ら問題を発見しその解決に対応できる高度な研究能力及び豊かな学識を備えた人材を養成する。</p> <p>(1)教育理念 環境問題は対象となる物質の多様化、規模の拡大、多くの事象間の相互関係の複雑化などが進んでいることから、対策には俯瞰的な視野と高度な技術が必要とされ、また国際的な対応も求められている。本専攻では、創造力と実践力に基づいて、このような複雑かつ多様な環境問題に対して解決策や循環型社会の構築のための技術や政策を提案できる人材の養成を教育の理念とする。 具体的に環境問題には、各種物質による環境汚染、エネルギー資源、廃棄物処理、生物多様性保全、および自然環境と人間生活との調和など多くの側面があり、これらに対処する社会の仕組みとも密接に関連する。これらの問題に対処できる高度な環境技術の開発能力、環境ビジネスや行政におけるマネジメント能力を身につけるための教育・研究を展開する。</p> <p>(2)養成する人材像 上記の教育理念に基づき、次のような人材の養成を目的とする。 確かな基礎学力を基本に、環境問題の解決ならびに循環型社会の構築のための高度な技術やマネジメント能力を有するを人材育成する。具体的には以下のとおりである。 1. 持続可能な循環型社会づくりに主体的に取り組む人材。 2. 環境分野における専門技術のみならず、法律、政策立案、技術等の専門性を身に付け、両方の専門性を生かして環境・社会との関係を理解し、環境保全のために専門性を発揮する力を有する人材。 3. 環境マネジメントの手法を取り入れた環境保全の方策を立案・展開できる人材。 4. 経済社会活動に環境保全を統合する企画構想力を有する人材。 5. 国際的な技術交流や国際ビジネスに対応できる人材。</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	工学研究科 [Graduate School of Engineering] 環境工学専攻 博士後期課程 [Graduate Programs in Environmental Engineering]	3	2	—	6	博士(工学)	平成27年4月 第1年次	富山県射水市黒河5180番地
	計		2		6			
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	該当なし							
教育課程	届出学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
	工学研究科環境工学専攻博士後期課程	講義	演習	実験・実習	計			
		0 科目	2 科目	0 科目	2 科目	14単位		

教員	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼任 教員						
			教授	准教授	講師	助教	計		助手					
新設分	工学研究科 環境工学専攻 博士後期課程		5 (5)	4 (4)	- (-)	- (-)	9 (9)	- (-)	- (-)					
既 組 織 の 設 分	工学研究科													
	機械システム工学専攻 博士後期課程		4 (4)	9 (9)	3 (3)	- (-)	16 (16)	- (-)	- (-)					
	知能デザイン工学専攻 博士後期課程		7 (7)	7 (7)	1 (1)	- (-)	15 (15)	- (-)	- (-)					
	情報システム工学専攻 博士後期課程		6 (6)	7 (7)	1 (1)	- (-)	14 (14)	- (-)	- (-)					
	生物工学専攻 博士後期課程		7 (7)	5 (5)	- (-)	- (-)	12 (12)	- (-)	- (-)					
計			24 (24)	28 (28)	5 (5)	- (-)	57 (57)	- (-)	- (-)					
合 計			29 (29)	32 (32)	5 (5)	- (-)	66 (66)	- (-)	- (-)					
教員 以外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計							
	事 務 職 員		32 人 (32)		- 人 (-)		32 人 (32)							
	技 術 職 員		-		-		-							
	図 書 館 専 門 職 員		-		-		-							
	そ の 他 の 職 員		2 (2)		-		2 (2)							
	計			34 (34)		-		34 (34)						
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計					
	校 舎 敷 地		131,693 m ²		-		-		131,693 m ²					
	運 動 場 用 地		72,756 m ²		-		-		72,756 m ²					
	小 計		204,449 m ²		-		-		204,449 m ²					
	そ の 他		-		-		-		-					
合 計			204,449 m ²		-		-		204,449 m ²					
校 舎	専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計							
	44,371 m ² (44,371 m ²)		-		-		44,371 m ² (44,371 m ²)							
教室等	講義室		演習室		実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設					
	30室		61室		111室		3室 (補助職員 - 人)		2室 (補助職員 - 人)					
専 任 教 員 研 究 室			新設学部等の名称			室 数								
			工学研究科環境工学専攻 博士後期課程			9室								
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		視聴覚 資料		機械・ 器具		標本	
	工学研究科環境工学 専攻博士後期課程		165,402 [45,561] (165,402 [45,561])		6,090 [3,290] (6,090 [3,290])		2,435 [1,967] (2,435 [1,967])		809 (809)		5,741 (5,741)		-	
	計		165,402 [45,561] (165,402 [45,561])		6,090 [3,290] (6,090 [3,290])		2,435 [1,967] (2,435 [1,967])		809 (809)		5,741 (5,741)		-	
図 書 館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数									
	2,425 m ²		248 席		14.1 万冊									
体 育 館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要											
	1,772 m ²		-											
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
	教員1人当り研究費等			1063 千円	1063 千円	1063 千円	- 千円	- 千円	- 千円					
	共同研究費等			105816 千円	105816 千円	105816 千円	- 千円	- 千円	- 千円					
	図書購入費		26163 千円	26163 千円	26163 千円	26163 千円	- 千円	- 千円	- 千円					
	設備購入費		71900 千円	71900 千円	71900 千円	71900 千円	- 千円	- 千円	- 千円					
	学生1人 当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次						
県内		724 千円	536 千円	536 千円	- 千円	- 千円	- 千円							
県外		818 千円	536 千円	536 千円	- 千円	- 千円	- 千円							
学生納付金以外の維持方法の概要			奨励金、受託研究費、電源立地交付金等のほか、不足する分については富山県の一般財源を充てる。											

既設大学等の状況	大学の名称	富山県立大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	工学部	年	人	年次人	人		倍		富山県射水市黒河5180番地
	機械システム工学科	4	50	—	200	学士(工学)	1.07	平成2年度	
	知能デザイン工学科	4	50	—	200	学士(工学)	1.06	平成18年度	
	情報システム工学科	4	50	—	200	学士(工学)	1.07	平成18年度	
	生物工学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.04	平成18年度	
	環境工学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.06	平成21年度	
	大学の名称	富山県立大学大学院							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	工学研究科 博士前期課程	年	人	年次人	人		倍		富山県射水市黒河5180番地
	機械システム工学専攻	2	17	—	34	修士(工学)	1.26	平成6年度	
	知能デザイン工学専攻	2	17	—	34	修士(工学)	1.05	平成18年度	
	情報システム工学専攻	2	17	—	34	修士(工学)	0.97	平成18年度	
生物工学専攻	2	15	—	30	修士(工学)	0.83	平成8年度		
環境工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.66	平成25年度		
工学研究科 博士後期課程	年	人	年次人	人		倍			
機械システム工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.41	平成8年度		
知能デザイン工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.33	平成18年度		
情報システム工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.08	平成18年度		
生物工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.41	平成10年度		
附属施設の概要	該当なし								

教 育 課 程 等 の 概 要														
(大学院工学研究科環境工学専攻 博士後期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目														
	小計（0科目）	—	—			—			0	0	0	0	0	
専門応用科目														
	小計（0科目）	—	—			—			0	0	0	0	0	
演習・研究	環境工学特別演習Ⅲ	1通	2				○		5	4				
	環境工学特別研究	1～3通	12				○		5	4				
	小計（2科目）	—	14	0	0	—			5	4		0	0	
合計（2科目）		—	14	0	0	—			5	4		0	0	
学位又は称号	博士（工学）		学位又は学科の分野				工学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
博士後期課程に3年以上在学し、14単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。							1学年の学期区分				2学期			
							1学期の授業期間				15週			
							1時限の授業時間				90分			

授 業 科 目 の 概 要

(工学研究科環境工学専攻 博士後期課程)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
必修 演習・ 研究	環境工学特別演習 Ⅲ	<p>【概要】 博士の学位論文を作成するために必要な課題設定能力の養成、課題解決能力の向上を目的として、具体的研究テーマの設定、研究遂行プロセスについて演習・討論を行う。</p> <p>(1. 楠井隆史)生物機能を活用した環境影響評価と環境改善 (2. 渡辺幸一)越境汚染や黄砂の動態と自然環境への影響解明 (3. 川上智規)発展途上国における環境改善 (4. 九里徳泰)未来認識・イノベーション創発型・戦略的環境・CSRマネジメント (5. 高橋剛一郎)自然環境と調和した流域保全に関する研究 (6. 奥川光治)水環境における汚染物質の動態と制御 (7. 畠俊郎)生態系機能を活用した防災機能向上 (8. 手計太一)気候変動が流域水循環・水資源に与える影響評価 (9. 伊藤始)コンクリート構造物の品質向上と維持管理</p>	
	環境工学特別研究	<p>【概要】 環境工学専攻の理念・教育目標に沿った内容の研究テーマを設定し、研究を行い、博士論文としてまとめる能力と研究成果を得ること。</p> <p>(1. 楠井隆史)生物機能等を活用した環境影響評価と環境改善 研究指導補助教員:奥川光治、畠俊郎 (2. 渡辺幸一)越境汚染や黄砂等の動態と自然環境への影響解明 研究指導補助教員:奥川光治、手計太一 (3. 川上智規)発展途上国等における環境改善 研究指導補助教員:九里徳泰、奥川光治 (5. 高橋剛一郎)自然環境と調和した流域保全等」に関する研究 研究指導補助教員:手計太一、伊藤始</p>	